



2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 アイビーシー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3920 URL <https://www.ibc21.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 裕之
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス統括部長 (氏名) 太田 祐樹 (TEL) 03-5117-2780
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	1,258	△1.2	△52	-	△72	-	△191	-
2019年9月期第3四半期	1,274	-	81	-	69	-	26	-

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 △190百万円 (-%) 2019年9月期第3四半期 18百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	△34.67	-
2019年9月期第3四半期	4.74	4.68

(注) 1. 2019年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
 2. 2020年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	2,768	1,395	50.4
2019年9月期	2,676	1,627	60.8

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 1,394百万円 2019年9月期 1,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年9月期	-	0.00	-	-	-
2020年9月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2020年9月期期末配当については、現時点では未定であります。

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 2020年9月期通期の連結業績予想については、現時点では未定であります。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名）一、除外 1社（社名）iChain株式会社

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	5,713,600株	2019年9月期	5,707,600株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	194,159株	2019年9月期	154,159株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	5,519,594株	2019年9月期3Q	5,570,313株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	8
（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦をめぐる動向や消費税引き上げ後の消費マインドの低下により景気が減速するなか、新型コロナウイルス感染症の世界的規模での拡大が国内外の経済活動に大きな影響を及ぼし、先行きは不透明な状況で推移しました。情報サービス業界においては、サイバーセキュリティ強化といった社会的な要因によるITインフラ投資が増加傾向にあり、また、企業においては、デジタルトランスフォーメーション（DX）に対応可能な環境整備を推進する動きに加え、新型コロナウイルス感染拡大を受けたリモートワークへの対応が急速に活発化してきております。

当社は、こうした流れの中で、ITシステムのオンプレミス（自社運用）からクラウド、もしくはハイブリッド運用のニーズに対応し「ITコストの最適化」及び「IT運用管理の効率化」に寄与する、自社開発のネットワークシステム性能監視／情報管理ツール「System Answerシリーズ」の機能拡張及び販売・サポート、パートナー企業との連携強化を継続展開しております。また、複数のSystem Answer G3を一括管理することができるマルチテナント対応製品「System Answer G3-XC（Xconnect：クロスコネクト）」の提供を開始し、大規模なシステム管理や複数企業のシステムを監視する際の煩雑さを解消するとともに運用管理コストの大幅削減を実現しております。合わせて、24時間365日体制で運用監視・即時対応が可能な「SAMS」等の顧客ニーズに合致したサービス提供や、ブロックチェーン技術を利用したIoTデバイス向けセキュリティサービス「kusabiTM」など、成長分野における取り組みも推進しております。新型コロナウイルス禍においては、企業や学校におけるリモートワーク急増に伴うITインフラ管理強化を支援するためのキャンペーンを展開し、ITインフラの管理を効果的に実現できる当社ソリューションを多数の新規顧客に提供を始めております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、当社売上が1,165,970千円（前年同期比2.9%減）と微減となりました。これに対し、株式会社サンデーアーツ（以下、「サンデーアーツ」といいます）が前第3四半期連結会計期間より連結対象に加わったことによる増収があったものの、iChain株式会社（以下、「iChain」といいます）の売上が12,550千円（同74.3%減）の大幅減となったことから、連結売上高は1,258,406千円（同1.2%減）となりました。

損益面は、当社サービスラインナップの多様化もあり売上総利益率が前年同期比で低下した他、のれん償却費の増加による販管費増加により、営業損失が52,696千円（前年同期は81,868千円の営業利益）、持分法による投資損失等の計上により経常損失が72,369千円（前年同期は69,342千円の経常利益）となりました。また、特別損失として、iChainのソフトウェア及びソフトウェア仮勘定並びにサンデーアーツに係るのれん等の減損損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は191,381千円（前年同期は26,379千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当社グループはソフトウェア・サービス関連事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しておりますが、当社グループの売上高の大半を占める当社のネットワークシステム監視関連事業に係る販売実績を提供区分別に示すと、次のとおりであります。

ライセンスの販売については、新型コロナウイルスの影響により新規顧客への販売が想定より伸びず、前年比で減少しました。サービスの提供については、システムインテグレーション案件が堅調であった他、次世代MSPサービスSAMS案件の増加、大型のIBC-SAS（IBCセキュリティアセスメントサービス）案件により大幅に伸長しました。その他物販等については、前期にあったPC等納入大型案件がなかったことにより減少しました。その結果、ライセンスの販売については売上高627,254千円（前年同期比8.7%減）、サービスの提供については売上高271,974千円（前年同期比37.1%増）、その他物販等については売上高266,741千円（前年同期比15.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は2,768,940千円（前連結会計年度末は2,676,954千円）となり、91,986千円増加しました。これは主に、売掛金が197,593千円、のれんの減損処理等によりのれんが111,458千円、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の減損処理等によりその他の無形固定資産が61,534千円、それぞれ減少し、貸倒引当金が24,447千円増加した一方で、現金及び預金が342,450千円、繰延税金資産の増加等により投資その他の資産のその他が140,147千円、それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,373,460千円（前連結会計年度末は1,049,362千円）となり、324,097千円増加しました。これは主に、未払法人税等が70,625千円、買掛金が63,043千円それぞれ減少した一方で、長期借入金が335,981千円、1年内返済予定の長期借入金が97,220千円、それぞれ増加したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,395,480千円（前連結会計年度末は1,627,591千円）となり、232,111千円減少しました。これは主に資本金及び資本剰余金等新株予約権の行使による新株の発行に伴いそれぞれ900千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴い、利益剰余金が191,381千円減少、自己株式の取得に伴い自己株式が43,053千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けリモートワークやオンラインコミュニケーションの急増に伴うICTインフラ管理に関する当社へのお問い合わせが増加しております。そのため、当社が提供するICTインフラ管理を効果的に実現できるシステム情報管理ソリューションの販売拡大が見込まれます。

また、産業用ロボットや監視カメラ、ルーター、家電製品など、あらゆる機器がネットにつながるIoTは、ますます広がっていくと予想されている中、IoT機器を狙ったサイバー攻撃の急増への懸念が広がっております。

そこで、総務省は、電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準を定める省令を改正し、2020年4月以降に販売するIoT機器に対して、アクセス制御機能やソフトウェアのアップデート機能、初期設定のパスワードの変更を促す機能を義務付けるなどの方針を打ち出しており、当該省令改正に対応可能なサービスとして、当社のkusabiTMに対するお問い合わせが増加しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による今後の影響については依然不透明であることから、2020年9月期の連結業績予想については引き続き「未定」とし、適切な業績予想が開示可能となった時点で改めて公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	925,045	1,267,495
売掛金	986,702	789,109
たな卸資産	21,939	25,128
その他	38,681	46,156
流動資産合計	1,972,368	2,127,890
固定資産		
有形固定資産	56,063	49,820
無形固定資産		
のれん	192,715	81,256
その他	114,356	52,822
無形固定資産合計	307,071	134,078
投資その他の資産		
その他	344,451	484,598
貸倒引当金	△3,000	△27,447
投資その他の資産合計	341,451	457,151
固定資産合計	704,586	641,050
資産合計	2,676,954	2,768,940
負債の部		
流動負債		
買掛金	95,652	32,608
短期借入金	650,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	25,176	122,396
未払法人税等	70,677	52
受注損失引当金	2,539	—
その他	109,418	135,536
流動負債合計	953,465	940,593
固定負債		
長期借入金	93,924	429,905
関係会社投資損失引当金	1,967	2,962
その他	6	—
固定負債合計	95,897	432,867
負債合計	1,049,362	1,373,460

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,830	441,730
資本剰余金	418,774	419,674
利益剰余金	947,508	756,127
自己株式	△178,061	△221,114
株主資本合計	1,629,052	1,396,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,263	△1,526
その他の包括利益累計額合計	△2,263	△1,526
新株予約権	802	589
純資産合計	1,627,591	1,395,480
負債純資産合計	2,676,954	2,768,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)
売上高	1,274,316	1,258,406
売上原価	402,024	431,720
売上総利益	872,292	826,686
販売費及び一般管理費	790,424	879,382
営業利益又は営業損失(△)	81,868	△52,696
営業外収益		
保険解約返戻金	358	1,156
受取手数料	707	1,257
消費税差額	—	1,624
その他	48	129
営業外収益合計	1,115	4,168
営業外費用		
支払利息	899	2,613
株式交付費	90	—
自己株式取得費用	402	129
持分法による投資損失	12,224	20,426
その他	24	672
営業外費用合計	13,640	23,841
経常利益又は経常損失(△)	69,342	△72,369
特別利益		
関係会社株式売却益	—	8,051
新株予約権戻入益	37	213
特別利益合計	37	8,264
特別損失		
固定資産除却損	45	—
会員権評価損	3,734	—
関係会社貸倒引当金繰入額	3,000	—
関係会社投資損失引当金繰入額	1,173	995
減損損失	—	203,799
特別損失合計	7,953	204,795
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	61,427	△268,900
法人税等合計	40,493	△77,518
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,933	△191,381
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,446	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	26,379	△191,381

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,933	△191,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,352	736
その他の包括利益合計	△2,352	736
四半期包括利益	18,580	△190,644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,027	△190,644
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,446	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2019年9月5日開催の取締役会決議に基づき、2019年10月1日から2019年10月31日（約定ベース）までの間に自己株式40,000株の取得を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が43,053千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が221,114千円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

○税金費用の計算

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社でありましたiChain株式会社の当社保有株式の全てを譲渡したため、連結の範囲から除外しております。